

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 教員氏名               | 沼田 英子   |
| 主な担当科目             | 博物館経営論,博物館資料論,博物館実習Ⅰ,博物館実習Ⅱ,博物館情報・メディア論_A,博物館情報・メディア論_B,博物館展示論,美術史Ⅰ_A,美術史Ⅰ_B,美術史Ⅰ_C,美術史Ⅱ_A,美術史Ⅱ_B   |
| 2024年の教育目標・授業に臨む姿勢 | 学芸員課程では、学芸員として博物館で働くための知識とスキルを身に付けられるよう、体験や見学の機会をできるだけ設け、学生が主体的に学ぶ環境を作る。美術史では美術の歴史や作品の理解を深め、美術鑑賞を楽しむことを重視する。作品を言語化する作業を通して分析力や鑑賞力を高め、他者に自分の感想を伝えるコミュニケーション力を培う。                                     |
| 2024年の教育に関する自己評価   | 「博物館概論」「博物館資料論」では、学外見学の機会を設けレポート作成と報告会を行って感想を共有した。「博物館展示論」、「博物館経営論」では、博物館実習Ⅰと連携して自分たちで考えたことを形にできるように工夫した。「博物館メディア論」では、発表の機会を使いITCによるコミュニケーションについて実践的に学んだ。「美術史」では展覧会鑑賞とレポート提出を課題とし、実際に作品を鑑賞する機会を設けた。 |
| 2024年のFD活動に関する自己評価 | FD活動にはすべて参加した。全体FDでは、学生への接し方などについて参考になるお話をうかがえて有意義だった。教養分科会、資格分科会ともに参加者の先生方と授業運営の課題などを共有し、自分の授業の参考になる意見をうかがうことができた。教養分科会では主査として全員の参加者の意見をいただくよう努めた。   |
| 授業改善のために取り入れた研修内容  | 多様な学生がいることを受けて、柔軟に対応するように心がけた。  |

## 2024 年度(前期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3566 教員名:沼田英子

### 1)アンケート結果に対する所見

美術史は同じ内容の授業をしているが、クラスや受講生によって感じ方が異なる点が気になった。

資料の形式や授業資料の共有、展覧会鑑賞課題については概ね好評のようなので、継続していきたい。

学芸員課程は受講者の意識が高いこともあり、授業内容がよく伝わったことがわかった。

### 2)要望への対応・改善方策

Teams にアップする資料について、もっと使いやすくなるよう整理したい。

授業内でディスカッションをする場合は、十分に時間をとり、進行にも工夫したい。

教室の空調は座席によって温度差があるので、受講生の様子を見て対処したい。

### 3)今後の課題

学生が積極的に授業に参加できるよう、授業方法を工夫していきたい。

以上

## 2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3566 教員名:沼田英子

### 1)アンケート結果に対する所見

美術史、学芸員課程科目ともに、概ね受講者は関心をもって授業に参加していることがわかった。美術史については、情報量が多すぎるとの感想もあったので、作品の選定やキーワードについても工夫したい。

### 2)要望への対応・改善方策

展覧会見学の課題はいつも好評だが、今回課題とした展覧会が混雑し観覧料が高額だったなどの指摘があったので、今後は課題とする展覧会の選定は受講者に負担がかからないよう検討したい。

### 3)今後の課題

わかりやすい授業をこころがけたい。

以 上